

## 東京大学オープンキャンパス研修 2018

8月1日（水）、2日（木）に一泊二日の日程で東京大学オープンキャンパス研修を行いました。生徒たちは二日間、学内の施設見学や模擬講義、個別説明会などに参加して実際に東京大学に触れることで、東京大学への思いを強くしたようです。

広島に負けず、記録的な暑さの続く東京でしたが、参加した生徒にとっては非常に貴重な二日間になりました。

今年度は、卒業生との懇親会が実施できず残念でした。数年後には今回参加してくれた皆さんが東大生として後輩に語ってくれることになることを期待しています。

《東京駅にて》



《二日目朝 赤門》



《安田講堂》



《東大 正門》



《中央食堂》



《終了後、全員で》



## 《解団式》



### 【参加した生徒の感想から】

○今回、私の一番の財産となったのは勉強する意味や着地点・目標を持つことが出来たことです。このモチベーションを忘れずに今から受験生だと思って勉強に取り組みたい。

○現役の東大生は何かオーラというか、自身に満ち溢れた表情をしていると思った。

○さまざまな学部の専用施設を見ましたが、学部・学科ごとに雰囲気は違っていました。文学部のように伝統的な外観の建物もあれば理学部のような現代的な建物驚きました。その中でも安田講堂は特別な存在感があった。

○行く前は期待と不安でドキドキしていましたが、終わってみるととても楽しく、今まで半ば諦めかけていた東大進学も、より具体的に志望できるようになりました。これからは他の大学のオープンキャンパスにも参加して自分の将来を明確に描いていきたい。

○東大はテレビやネットで見たことはありましたが、実際に行ってみると、自分の持っていた印象や予想をはるかに超える施設に圧倒されました。

○東大の展示ホールで天体望遠鏡の展示を見ました。以前から「なぜ天体望遠鏡は高い山の上に設置する必要があるのか」という疑問を持っていたが、その疑問もここで解消することが出来ました。

○当日の先着順の企画に参加するために早めに来て並んでいたら、山口県の高校二年生の先輩と知り合いになり、いろいろな話が出来た。その先輩は「勉強が間に合わない」と焦っていたが、それはしっかり勉強している証拠でもあると思った。自分も努力していく。

○空いた時間に構内を歩いていると、農学部2年の東大生の先輩に話しかけられたので、勉強法や勉強時間などを聞いてみた。すると、東大生と言えど、苦手な教科もあり、勉強したくないときもあったということで、我々と変わらない部分もあるのだと思った。

○闇雲に「東大!」「京大!」と言うのではなく、そう決めたのならそれなりの、いや誰よりも努力をする覚悟をすべきだと思った。本気で挑まないのに受験すると言うのは他の努力してきた受験生に対する侮辱だと思った。進路について悩んでいたが、一步だけ前に進めた気がする。